

端末持ち帰りで子どもの学びをバージョンアップ

福津市立津屋崎小学校

昨年度から全国で進められているGIGAスクール構想により、一人に一台の端末が整備され、学校での学習も少しずつ変わってきています。

これまでの学校でのパソコンの活用は、主に教師が子どもに分かりやすく教えるために活用されてきました。しかし、今回のGIGAスクール構想では、コンピューターをノートや鉛筆のような**文房具として、子ども自身が使いこなす**ことを大切にしています。



“じぶんの”パソコンと
しょうずにつきあうには？

津屋崎小学校でも、子どもたち一人一人が、授業の中で自分の端末を使って、調べたり、まとめたりしています。また、自分の考えをタイピングしてまとめたり、ノートにまとめたことを写真に撮って共有したりと、お互いの考えを交流し、一緒に学ぶことができます。先生の話をも、じっと聞いているだけでなく、**一人一人が考え、一人一人がつながり合う。そんな学習を、これまでよりもっと簡単に、もっとスムーズに行うことができる**ようになってきています。

また、一人一台端末を活用することで、**学校での学びと、家庭での学びが、これまでよりもっとスムーズにつながる**ようになります。

学校で学習していることを、そのまま家でも続けて進めることもできます。また、学習したことから、興味を持ったことを、自分で独自に調べてみたり、まとめてみたりと発展させることもできます。

その他にも、デジタルドリルなどを使って、自分が苦手なところを、自分で選んで取り組むこともできます。

こうして、自分に合った学習に、自分に合った方法で取り組むことができるのも一人一台端末のよさなのです。



このように一人一台の端末を、自分の学びを豊かにする文房具として子どもたち一人一人が、使いこなすことができるように、学校全体で取り組んでいます。

もちろん**適切な使い方**について、学校でも指導を重ねていきます。

文房具としての端末は、ハサミに例えられることがあります。適切に使えば、とても便利で、ハサミなしではできないこともたくさんあります。しかし、使い方を誤れば、人を傷つけたり、自分がケガをしたりすることもあります。

この便利な道具を、何のために使うのか、どのように使うのか、その**使い方を子どもたち一人一人が、しっかりと考え、責任をもって使うことができる**よう学校でも学習を積み重ねていきます。

ご家庭でも、端末の使い方について、お子さんと話し合い、約束を決めるようにしてください。

「タブレットパソコン」使い方の約そく	
3-6年生用	
1. 持ち方 (つえの上に置いたり、手でしっかり持ったりします) 地面に置いたり、持ったまま走ったりしません	6. 使わないとき (出したままにせずに、「引き出し」や「保管庫」へ) OK
2. 置き方 (平らで、グラグラしない 変化した所に置きます) OK	7. 自分せよう (卒業するまで、自分のものとして大切にします) ※人に貸したり、使わせない、パスワードを教えない、教えない
3. 使うとき (「さぐりて、かわいた手」で「ていねいに」) ※ ときどき、ぬくを見るなど、目を休めることも大切	8. 友だち (みんなに役立つことを言ったり、おかしなことを) ※ 友だちにいやな思いをさせないことを絶対に守る
4. 出し入れ (先生の指示にしたがって、使うときは「保管庫」から出して電源オン 返すときは、電源オフで「ほかんこ」へ入れ充電する) OK	9. 個人情報 (自分や友だちの個人情報は、大切に取扱い) ※「個人情報」とは個人の名前や住所、電話番号、顔の写った写真など
5. カメラ、動画 (学習に関連のあることだけ、写したり、見たり) ※動画などを見る時は正しい姿勢で	10. 困ったとき (困ったことがあれば、先生に相談しよう)

この機会に、福津市作成の「学校と家庭をつなぐICT機器の活用について」等もあらためてご一読ください。本校のホームページからもご覧いただけます。